

平成27年度第1回江南市地域公共交通会議 会議録

- 日 時 平成27年8月31日(月) 午後2時～午後3時15分
- 場 所 市役所 3階 第3委員会室
- 委 員 出席委員15名(磯部 友彦、平野 富一、小久保 信(代理:石屋 義道)、
近藤 博之、森 一浩、古田 寛、河村 富貴、尾関 順久、古橋 靖弘、
丹慶 有司、水野 文三(代理:石原 良二)、脇田 和美、村瀬 徳行、
石川 勇男、武田 篤司)
欠席委員1名(長屋 涼)
- 傍聴者数 5人
- 資 料 いこまいCAR(予約便)及び名鉄バス「江南・病院線」等の利用状況に
ついて
 - ・いこまいCAR(予約便)利用状況
 - ・名鉄バス利用状況
 - ・大口町コミュニティバス利用状況
 - ・名鉄バスの見直しについて新たな公共交通の実現を求める要望書

○市長あいさつ

○会長・副会長の選出

会長には磯部委員、副会長には平野委員を選出

○報告事項①

「いこまいCAR（予約便）」及び名鉄バス「江南・病院線」等の利用状況について

事務局 資料1～11pについて説明。

委員 「いこまいCAR（予約便）」のシステムについて、簡単に説明をお願いします。

事務局 事前に市に登録する必要があり、義務教育を修了していれば登録ができます。利用する前日までにタクシー会社に電話予約すれば、当日は指定された時間に配車されるので、目的地まで乗車できます。タクシー運賃の2分の1を、10円未満を切捨てて利用者が負担しますが、迎車料金も別途利用者が負担します。運行区域は市内のみとしています。自宅まで迎えに行き、市内の目的地まで運行します。

委員 タクシー料金の値上げの申請が出ています。順調なら、12月には認可となると思われますので、情報提供します。

委員 登録者が増加していますが、実際の利用者、2,057人は伸びていますか。利用促進はどのようにしていますか。

事務局 利用者数の分析は、26年度分のみ行いました。利用促進については、広報や市のホームページなどで啓発を行っています。広報では、路線バスと併用することにより、料金が抑えられる内容の記事も掲載しました。

委員 市の負担額は、いこまいCARに対して3,200万円程度、名鉄バスへの補助が2,700万円程度、併せて6,000万円程度ですが、市ではどのように考えていますか。

事務局 市では、福祉タクシーへの料金助成や大口町コミュニティバスに対する負担金も支出しており、合計で77,823,760円という状況です。平成26年度より「いこまいCAR」の料金を見直しており、また、後ほど説明させていただきますが、市負担額の軽減のために、名鉄バスのダイヤ改正をすることにしました。

○報告事項②

名鉄バス「江南団地線」のダイヤ見直しについて

事務局 資料12pについて説明

会長 路線が無くなる訳ではなく、便数を減らすということで、報告という形になっています。

委員 名鉄バスへの補助とはどのような考え方なのか、欠損補填なのかどうかを説明して頂きたいです。また、路線図を示して頂くと議論がし易いです。

事務局 10月から翌年9月までの期間で、経常費用から経常収益を差し引いた不足分を市が補填しています。次回からは路線図も用意させていただきます。

会長 病院へ行くのに、この路線のみに頼っているのか、他の路線もあるのかを説明してください。

事務局 江南・病院線を利用すれば、厚生病院へバスで行くことができます。

会長 「いこまいCAR（予約便）」も通院に使えるので、いろんな方法で病院に行くことができる状況のなかでの減便です。

○要望書について

会長 今回の減便は、市が負担している補助路線の財政的制約のなかから出てきているもので、利用者の行動を制限するものではありません。市内にはいろいろな交通手段があつて、病院に行く機会は保障されています。両方のバランスから出てきた答えだろうと思います。

委員 ダイヤ改正について、時刻への要望が多く出されていますが、事業者が法を守り安全を確保するためにダイヤを組んでいますので、そこをまず尊重しなければいけません。そのなかで、もし時刻に多少の調整ができるのであれば、話を聞いて頂ければよいと思います。運賃については、安全を担保するため、1km当たりいくら、という賃率により決められています。それを安くするということは市が負担することになりますので、要望を出すなら、その点もしっかり検討する必要があります。バス停の位置については、交通安全上どこが一番安全なのか、そこを最優先に考えて頂きたいと思います。

□その他について

事務局 江南市の公共交通は、交通体系等検討委員会において、これまで様々な検討が

なされ、改善されてきました。しかしながら、少子高齢化の進展、人口減少により、市民の需要も大きく変化することが考えられます。今後の市の交通体系については、新たな体制による検討が必要であると考えますので、本日、開催しております「江南市地域公共交通会議」についても、今後、法定協議会も視野に入れながら検討を進めていきたいと思っておりますので、ご了承いただきますよう、よろしくお願いいたします。